会議録

会議の名称	社会教育委員の会議（７月定例会）会議録
開 催 日 時	令和２年７月31日（金）午後２時から午後３時20分まで
開 催 場 所	田無第二庁舎３階 会議室
出　席　者	委　員：播賀議長、長谷川副議長、川原委員、北村委員、河野委員、小松委員、菅野委員、高橋委員、星出委員 事務局：江藤課長補佐兼社会教育係長、青木主事
議　　　題	（１）「地域学校協働活動」について （２）その他
配 付 資 料	資料１　　社会教育委員の会議（６月定例会）会議録（案） 資料２　　「地域学校協働活動」のあるべき姿（中間提言） 資料３　　「地域学校協働活動」のあるべき姿【概要版】
記 録 方 法	□全文記録　□発言者の発言内容ごとの要点記録　■会議内容の要点記録

会 議 内 容

●令和２年６月の定例会議の会議録について、承認する。

議事（１）「地域学校協働活動」について

〇議　長：提言の完成に向けて、まずは事務局より説明をお願いしたい。

〇事務局：下記のとおり説明

- ７月９日（木）に議長・副議長より教育長へ中間提言を提出。
- 中間提言からさらに検討が必要な部分についは、９月定例会での完成を目標に議論を進めていく。
- 提言の完成に向けて、中間提言の「４．まとめ」について具体化していく必要があると考える。

〇議　長：事前に事務局より送られている資料や説明を踏まえて、皆さまからのご意見をお願いしたい。

〇委　員：地域コーディネーターは、学校と地域等とのつなぎ役として、非常に重要であると考える。
過去に教育現場等に関わりのあった人物を含め、学校のことを理解している人材が適任であると思う。
また、実際に地域と学校が連携したことによる成功体験を積み重ねることで、学校の理解も得ることができるのではないか。

〇委　員：地域コーディネーターについては、学校だけでなく、地域や保護者とも信頼関係を構築できている人材がよいと思う。また、人材情報に精通している人物も適任であると考える。
地域コーディネーターを選任するにあたって、学校長の意見を聞くというのはとても重要であると思う。
地域学校協働活動に対する学校の理解を得ることについては、下記が考えられる。
ひとつは、教育計画等に基づいて「地域学校協働活動」が取組むべき事柄であることを教育長から発信すること。
それに沿って校長が学校経営方針等に「地域学校協働活動」をキーワードとして盛り込み、取組むこと。

そして教職員向けの研修を行い、「地域学校協働活動」について意識を向けていくことである。
学校や地域、行政との情報共有については、既に全校に設置されている学校運営連絡協議会のように、１か月に１回でも情報共有する場を設けることができるとよいと思う。

○委　員：学校運営連絡協議会など既に各学校に設置されているものを活用するのがよいと思う。
学校の理解を得るために校長会での説明は必要であると感じる。また、「地域学校協働活動」を担当する教職員を対象に会議や研修を行うことで、学校として「地域学校協働活動」に対する意識づけを行うことができると考える。

○委　員：地域コーディネーターは、子どもとも信頼関係が構築できている人材が適していると思う。
その意味では、運協（施設開放運営協議会）の人材は適任であると感じる。
学校の理解を得るためには校長会だけでなく、「地域学校協働活動」を担当する教職員の協力を得ながら取組むことが重要であると考える。
学校や地域、行政との情報共有は、モデル校での事例についてオンラインなどを活用し情報発信していくことがよいのではないか。

○委　員：学校運営連絡協議会を中心に、様々な地域の人材の協力を得ることができればよいと考える。
昨年、地域学校協働活動に関する学習会に参加した際に、教職員の中でも温度差があると感じた。地域学校協働活動について、理解の深い方に話をしてもらう機会等を作ることが重要であると考える。

○委　員：校長会議を中心に学校の理解を得ていくということは重要であると考える。

○副議長：地域コーディネーターの選任について、学校長の意見を聞くというのはよいと思う。
また、可能であれば地域コーディネーターを複数人配置してもよいのではないか。
学校の理解を得るために校長会等にて情報提供、情報発信を行うことが必要であると考える。また西東京市の「地域学校協働活動」に関するサイトやページを整備し、情報発信を行うことも必要なのではないか。

○委　員：地域コーディネーターについては、企画力のある人材、調整力のある人材の２名を配置できるとよいと考える。
人材の選任について、企画力のある人材についてはプロポーザル（企画提案）方式、調整力のある人材については学校長の推薦がよいと思う。
学校の理解を得るためには、地域学校協働活動に関わる人材のインタビューなどを収めたビデオを作成するのがよいと考える。
地域学校協働活動における学校や地域、行政との情報共有や継続的な展開に向けては、他自治体にて実施されているポータルサイトの活用が効果的なのではないか。

○議　長：地域コーディネーターについては、子どもに対して熱意を持って育てようという思いのある人材が適していると思う。
また、行政には地域学校協働活動の推進に向けて、統括コーディネーターの配置に向けた準備をお願いしたい。
今回、皆様からいただいたご意見は提言の完成に向けて重要になってくると思う。
引き続き、まとめ部分の加筆を中心に提言の完成に向けて議論を進めていきたいと思う。

議事（２）その他

※提言完成に向けた今後の流れについて

・参考資料１「地域学校協働活動」のあるべき姿本提言の提出に向けてについては、各自内容を記入し、８月７日（金）午後５時までに事務局へ提出する。

※成人式について

・民法の改正により、成人年齢が18歳に引き下げとなる。

・社会教育委員の皆さまからご意見をいただき、成人式の対象年齢や開催方法について検討したい。

・定例会後、回答データを事務局より全委員宛にメールにて送付。
８月11日（火）午後５時までに事務局へ提出する。

※都市社連協ブロック研修について

・講師は川原委員に決定。

・日時、講演内容については別途調整する。

※次回会議

８月28日（金）午後２時

防災センター６階 講座室Ⅱ